

令和2年 第19回
教育委員会臨時会会議録

令和2年6月22日（月）

港区教育委員会

港区教育委員会会議録

第2546号
令和2年第19回臨時会

日 時 令和2年6月22日(月) 午前10時00分 開会

場 所 テレビ会議(港区役所7階 教育委員会室)

「出席者」	教 育 長	青 木 康 平
	教育長職務代理者	田 谷 克 裕
	委 員	山 内 慶 太
	委 員	薩 田 知 子
	委 員	中 村 博
「説明のため出席した事務局職員」	教育推進部長	星 川 邦 昭
	学校教育部長	湯 川 康 生
	教育長室長	村 山 正 一
	図書文化財課長	江 村 信 行
	学務課長	佐々木 貴 浩
	教育人事企画課長	瀧 島 啓 司
	教育指導担当課長	篠 崎 玲 子
「書 記」	教育総務係長	佐 京 良 江
	教育総務課	田 邊 真

「議題等」

日程第1 報告事項

- 1 港区スポーツ運営協議会委員の委嘱について
- 2 令和2年度いじめ問題対策連絡協議会の報告について
- 3 令和2年度小中学生海外派遣事業について
- 4 生涯学習スポーツ振興課の5月事業実績について
- 5 生涯学習スポーツ振興課の5月の各事業別利用状況について
- 6 生涯学習スポーツ振興課の7月事業予定について
- 7 図書館・郷土歴史館の7月行事予定について
- 8 7月教育人事企画課事業予定について

「開会」

○教育長 ただいまから令和2年第19回港区教育委員会臨時会を開会いたします。

中村委員は追って参加、出席していただきますのでよろしくお願いいたします。

また、本日は湯川学校教育部長はテレワークにより出席しておりますので、ご承知おきください。

(午前10時00分)

「会議録署名委員」

○教育長 日程に入ります。

本日の署名委員は、田谷委員にお願いいたします。

日程第1 報告事項

1 港区スポーツ運営協議会委員の委嘱について

○教育長 それでは、日程第1、報告事項に入ります。

「港区スポーツ運営協議会委員の委嘱」について、説明をお願いいたします。

○生涯学習スポーツ振興課長 港区スポーツ運営協議会の委嘱についてご報告いたします。資料ナンバー1を御覧ください。

港区スポーツ運営協議会委員は、スポーツ事業の推進に関して幅広い分野の関係者の方からご意見や助言を頂くことを目的として設置しています。この協議会は学識経験者やスポーツ団体の関係者によって構成され、年2回程度開催しております。

協議会の役割ですが、スポーツ実施に関すること、施設の管理運営に関すること、スポーツ団体に対する交付金に関することなど、様々な分野の方から幅広く意見を頂いております。

現在の委員が令和2年6月30日に任期満了となるため、7月1日から令和4年6月30日までの期間に委員となられる方を名簿に記載しております。現在のところ、6名の方々が決まっております。

なお、欠員となっているPTA関係者とスポーツ推進委員についてですが、いずれもコロナウイルス感染予防対応で関係者全員が集まる会議体を開くことができていないことから、現在、委員の推薦を待っている状況です。

いずれも総会が開催され、新会長が決定次第、新しい委員の委嘱ができる見込みとなっております。

簡単ではございますが説明は以上です。

○教育長 説明は終わりました。ご質問をお願いいたします。

よろしいですか。

それでは、この報告事項は以上とさせていただきます。

2 令和2年度いじめ問題対策連絡協議会の報告について

○**教育長** 次に「令和2年度いじめ問題対策連絡協議会」について、説明をお願いいたします。

○**教育指導担当課長** 私は、資料ナンバー2を用いまして、令和2年度港区いじめ問題対策連絡協議会の報告についてさせていただきます。

令和2年5月12日に書面会議で開催させていただきました。

本来ですと、項番3に書かせていただいている区長をトップとして構成員が集まって年1回港区のいじめ問題対策について話し合うという貴重な機会ですが、今年度は書面で開催させていただきました。

2ページ目を御覧ください。

議事の内容を項番4のところに、全部で7項ですが、報告事項を載せさせていただいております。

こちらの中で、特に(4)の「いじめ防止基本方針の具体的な取組について」を用いて資料で今日、資料4番というふうにつけさせていただいていますが、そちら、色々教育委員会でもご示唆いただきましてでき上がりましたこちらの資料を基に、皆さんも意見を頂いております。

項番5です。「会議の結果および主要な意見」というところで、こちらに載せさせていただきました。

3ページ以降に自由意見、今回たくさん委員の方から頂きました。

ポイントを絞ってご説明させていただきますと、いじめの発生件数や様態について、警察、民生委員の方からも意見を頂いています。

こういった状況の中、DVですとか虐待、それからSNSでのいじめ等、なかなか見えにくい部分のものがあるので、気をつけて継続的に指導していくことが必要だというご意見を頂いています。

4ページ目には「日頃の指導について」という項目があって、これは、こどもメンタルクリニックの武石先生からも頂いているのですが、迅速な対応があってこそ、このように翌日に学校において話合いが持たれたという意見も頂きました。

それから⑤、これは今までになかった視点で、「新型コロナウイルス感染症に関わる対応について」というところで、みなと保健所長からもご意見を頂いています。やはり、いじめ・偏見を大変危惧していて、学校再開後の学校の指導だけではなく、相談体制も確保してほしいという、もっともだなという意見も頂いています。

5ページ目、最後に「その他」のところにも書かせていただいておりますが、PTAの連合会長の佐野委員からも頂きましたが、新設された教育センターの認知度をより上げていくことも必要だと、もっともだなというところで、こういった意見を基にまたこちら1年間頑張っていきたいなと思っているところです。

以上ですが、報告を終わります。

○**教育長** 説明は終わりました。ご質問をお願いいたします。

○**田谷委員** 今ご説明があった、⑤の新型コロナウイルス感染症に関わることで、こういうような事例には……いかがでしょうか。

○**教育指導担当課長** 具体的な事例というのは今のところ上がってきてはいませんが、上がってな

いだけなのかなと思っていますので、気をつけて学校とも情報共有しているところです。

○**田谷委員** 分かりました。今後ともちょっとこの件に関しては、新しいいじめの火種となる可能性もあると思いますので十分注意していただきたいと思います。よろしくお願いします。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

○**山内委員** 今回の報告を伺っても、コロナによって特別な状況が起こり、その中でのことが懸念され、指摘されていますけれども、例えば、SNSに関するいじめについても、ある意味でみんな学校がずっと閉じていた、またあるいは今始まって友達同士で遊べないという中で、SNSによって子ども同士がつながるということに対して、家庭も含めてみんな寛容になっていると思うのですね。

それはある意味で、それを使ってつながるということも大事なことでいいのですけれども、他方でその中でのいじめというのが潜在している可能性があるのではないかと懸念しています。それから、親子のDV等の問題もあり得ることだと思いますけれども、その点については、懸念される状況とか具体的に何か苦労されているようなことは出始めていますでしょうか、いかがでしょうか。

○**教育指導担当課長** SNSの問題で、中学生のトラブルで、今までアイコンとか顔写真をほかの下半身と違うものを組み合わせてLINEに画像を上げてしまうようなトラブルは2、3件上がっていたという形があったのですが、今回、小学生からもそういったSNSの件が上がってきているのがあります。

すれ違いざまに「きもい」と言って、お互いちょっと言い合うことがありました。そして、お互いが言い合うだけでなく、SNS上に言い合った時と同じような気持ちで「きもい」と載せてしまったという件がありました。いち早く保護者の方も気づきまして対応したというのがありました。言い合いが発生した際に解消されないものについて、SNSにまで飛び火してしまうというのが小学生にも見られるのだなと感じたところで、そこはしっかり指導していかななくてはいけないなと思っています。

以上です。

○**山内委員** ありがとうございます。

学校以外でのコミュニケーションを取らざるを得ないというか、その比重が増して学校での部分が減っているだけに、今のようなことというのはだんだん出てくると思いますので、ぜひ丁寧によりしくお願いいたします。

○**教育長** ほかにいかがでしょうか。

今の山内委員の指摘に関連して、資料3のいじめに関する現状……、あるいは……、特にSNSというのは問題になります。

だからその辺の数値が分かるのであれば、どこか今後は情報提供してもらいたいと思います。よろしくお願いします。これからでいいです。

○**教育指導担当課長** これからで、分かりました。承知いたしました。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。

それでは、この報告事項は以上とさせていただきます。

3 令和2年度小中学生海外派遣事業について

○教育長 次に「令和2年度小中学校海外派遣事業について」説明をお願いします。

○教育指導担当課長 それでは資料ナンバー3を用いまして「令和2年度小学生海外派遣事業について」ご報告させていただきます。

前回の教育委員会の際に、今回はコロナのことで中止をするという報告をさせていただきましたが、その後の代替案として、沖縄県那覇市および恩納村にて3泊4日の国内イングリッシュ・キャンプを実施する形で今検討しています。それを報告させていただきます。

項番1の「ねらい」のところですが、海外派遣の狙い自体は、外国の自然及び文化、社会に触れさせるなどの直接体験を通して、国際理解及び国際感覚の基礎を培い、コミュニケーション能力を身につけるとなっております。ですので、できる限りこの内容を実施できるようなプログラムをと考えまして、今回沖縄県を選ばせていただきました。

なぜ沖縄なのかというところで、本プログラムは町を歩いて直接体験を重視しているもので、日本語で何か体験するというよりは、英語を使って直接体験ができるようなプログラムができないかというところで考えさせていただきました。そして、そこが沖縄だということになりました。

実施期間については項番2に書かせていただきました。3月26日から3月29日の3泊4日です。

行程は項番3に書かせていただいています。

まず現地に飛びまして「留学生の母国や港区と比較しながら現地を観光」と書いてあるのですが、沖縄に行った際に、2名から3名のグループに留学生を1人つけて、その留学生と共に3泊4日過ごす生活スタイルを考えています。

留学生というのは、立命館アジア太平洋大学と言って九州にある大学なのですが、日本で1番留学生の人数がおり、教育関係に長けているというところで、ただ外国人をつけてグループを回ればいいだけではなくて、しっかりとどういう意図で小学生、中学生が来て今回のこのようなイングリッシュ・キャンプをやるかということを理解して回っていただける留学生をつけるというイメージでおります。その留学生と1日目、現地を観光します。

夜にはその留学生と1日目の振り返り、それから2日目の目標設定をいたします。

2日目、沖縄の文化を学ぶためのフィールドワークを留学生とそのグループで行います。

その際に国際通り等で現地調査をしたり、そのときにも外国の方も多いというところで英語を交わしてのインタビューとなります。

午後、フィールドワークの学びの振り返り。

夜は、せっかく留学生の方々と交流をするので、留学生の国について教えていただくとともに、

日本の文化についてしっかりと自分たちが英語を使って留学生に紹介する時間を取ります。

そして、3日目です。

現地外国人家庭、沖縄は外国人の方がたくさんおりますので、そちらの家庭に宿泊することは難しかったので、日帰りという形になるのですが、朝から夕食までホームステイ体験をさせていただきます。そして、その際にも日本の文化をホストファミリーに紹介する活動というものもさせていただきます予定です。

そして、4日目。現地での学びの振り返り、発表に向けて練習をするというようなイメージでおります。

項番5、今後のスケジュール案を載せさせていただきました。

現在は中止になりましたということだけ保護者の方に通知をさせていただいていますので、まずは6月30日に保護者会についてやりますよという通知を出させていただきます。

そして、7月18日に保護者会、白金の丘学園ホールをお借りします。

そして31日に代替プログラムの参加確認の期日を切りたいと思います。

全員参加していただくようにこちらも努めていきたいと思うのですが、なかなか3月末ということで難しい方もいるかもしれませんので、きちんと参加していただけるかどうかの有無を取りたいと思います。

そして、2月20日、3月21日と事前研修、そして、すみません、ちょっと間違いを見つけてしまいました。3月21日が「事後研修」となっております、申し訳ございません「事前研修②」です。

そして、3月26日から29日でイングリッシュ・キャンプ。羽田空港集合・解散と考えております。

そして、慌ただしいのですが、3月30日に参加児童生徒の保護者、それから学校向けに報告会を行って、今年度の事業を終わりという形にさせていただきたいと思っております。

報告は以上です。

○**教育長** 説明は終わりました。ご質問をお願いいたします。

○**田谷委員** この立命館アジア太平洋大学の留学生の学生さんなのですか、直に留学生の学生さんに対しての出身国の要望とかは出しているのですか。

○**教育指導担当課長** なるべくですが、英語圏のオーストラリアは関わりが大きいので、そんなところを中心に英語圏の留学生をお願いはしています。

○**教育長** いかがでしょうか。

○**田谷委員** 分かりました。この先方の大学の状況、僕もよく分かりませんが、なるべく英語圏の方をつけていただいた方が趣旨的にもいいかなと思います。

また、非常にこの短い期間で新しいプランを練られたことは大変ご苦労さまでした、ありがとうございました。

それと最後に一つ、3月30日の報告会、これは私達も参加することはできるのでしょうか。

○教育長 どうですか。

○教育指導担当課長 できます。お忙しいのでなかなか大掛かりという形にはならないかと思うのですが、ぜひご出席いただければと思っていますので、よろしくお願いします。

○教育長 よろしいですか。

○田谷委員 分かりました、ありがとうございます。

また例年と違った派遣の仕方になると思うので、ぜひとも時間をつくって参加させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

○山内委員 本当に短い期間で代わりの案を作ってくださいありがとうございます。

一応念のための確認ですが、一つは立命館のアジア太平洋大学、大分の別府の大学だと思えますけれども、沖縄まで来てくれてプログラムに協力してくださるという形なのか、あるいはもう沖縄にそういう拠点を持っているということなのか、体制のことを一つ確認と、あともう一つは、沖縄でのホームステイ、こういう形での外国人家庭でのホームステイの実績というのは沖縄はそれなりにあるのかどうかというところ、そこを教えてください。

○教育指導担当課長 まず1点目の大分の別府からのという話ですが、沖縄に拠点は無いので別府から連れてくる感じです。それが1点目です。

2点目の、沖縄との交流実績があるかというところで、今どの中学校どの小学校があるかとまとめて、最終的にどこか実績があるかを出していただきますが、安心できるご家庭でないところのホームステイ先として選べないので、そこは今JTBとも話をし、どこの学校と交流したかというのは出してもらう形になっています。

○山内委員 ありがとうございます。ぜひ、そこも丁寧にやっていただければと思います。

それからもう1点ですが、確かに今回もともと英語での研修の代替ということですから、英語を中心にコミュニケーションを取れる留学生に参加してもらうということでいいと思えますけれども、一方で、単なる代替でやるという形で終わるのか、せつかくやる以上、新たな意味づけを加えるかということも考えていいと思っています。

確か、立命館アジア太平洋大学に来ている留学生の国籍というのはかなり多様だと思えますので、ただ当然日本で教育を受けるに当たって、英語がある程度共通の言語にはなっていると思うのですが、出身国自体は多様だと思うのですね。

そういう意味では、単なる英語のコミュニケーションの練習というよりは、逆にもっと多様な国籍の人たちとの体験という意味で、ある意味でグローバルコミュニケーションというのでしょうか、グローバルコミュニケーションの経験にするというような、新たな意味づけを加えてもいいのではないかと思います。

非英語圏の人たちとでも、一番は英語を使いながらになりますけれども、その中で色々な文化の人達とのコミュニケーションを広げていくと、そういうグローバルコミュニケーションというのをちょっと打ち出してもおもしろいかなと思います。これはもちろん、これからお考えいただければ

いいことですが、ご参考として申し上げます。

○**教育指導担当課長** ありがとうございます。2日目の夜に、留学生の母国の紹介をしたり、日本の文化を伝え合うところで、ご示唆いただいた視点も入ると……というふうに今、……ので、そこは委託業者のJTBと相談して入れてみたいと思います。ありがとうございます。

○**教育長** ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

○**田谷委員** 2日目の午前中、宿泊ホテルでの実地調査とか、国際通りでの実地調査、これはどのような調査をされる予定なのでしょう。

○**教育指導担当課長** まず宿泊ホテルも海外の方のお客さんが多いホテルを今想定しているので、従業員の方たちにどういう視点を持って今働いているのかですとか、あと沖縄の観光の未来について、今SDGsがあるかと思うのですが、持続可能な社会の実現に向けてという形のをまず職業感的に聞いてみたり、沖縄の……を……後世に残すために、これは国際通りの方の……になるかと思うのですが、そういったところ。それから、沖縄の魅力ある観光地として内外にアピールするために、どのような視点で働いていらっしゃるかと、そういったところも伺えるのではないかなと思っています。

○**教育長** いかがでしょうか。

○**田谷委員** 国際通りの視察というのも同じようなことですか。

○**教育指導担当課長** はい。そうです。国際通りも沖縄の文化や資源について伺った上で、後世に残すためにどんなことに取り組まれているのか、そういうところを国際通りの方たちに伺うようなイメージになるのですけれども。

○**田谷委員** どうもありがとうございます、了解いたしました。

沖縄の文化とか資源というのが非常に観光に資する部分が大きいと思うので、その辺も色々コロナ後の沖縄での調査してもらえればいいかなと思います。ぜひともよろしく願いいたします。

○**教育長** ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、この報告事項は以上とさせていただきます。

- 4 生涯学習スポーツ振興課の5月事業実績について
- 5 生涯学習スポーツ振興課の5月の各事業別利用状況について
- 6 生涯学習スポーツ振興課の7月事業予定について
- 7 図書館・郷土歴史館の7月行事予定について
- 8 7月教育人事企画課事業予定について

○**教育長** 次に、「生涯学習スポーツ振興課の事業実績について」「生涯学習スポーツ振興課の5月の各事業別利用状況について」「生涯学習スポーツ振興課の7月事業予定について」「図書館・郷土歴史館の7月行事予定について」及び「7月教育指導課事業予定について」、この5件の定例

報告については、配布資料のとおりです。

各報告事項について、ご質問をお願いいたします。

よろしいですか。それでは、これらの協議事項は以上とさせていただきます。

「閉会」

○教育長 本日予定している報告事項は終了しましたが、委員、または説明員から何かありますでしょうか。

よろしいですか。

なければ、これをもちまして閉会といたします。

次回は定例会を7月14日火曜日、午前10時から開催の予定です。よろしくをお願いいたします。
お疲れさまでした。

(午前10時27分)

会議録署名人

港区教育委員会教育長 青木 康平

港区教育委員会委員 田谷 克裕